

中国語との対照比較を視野に入れて

現代日本語における否定文の研究

文学博士 王 学群 著 第二回日本僑報華人学術賞受賞作品

素晴らしい現代日本語研究成果の一つ

大東文化大学院教授 鈴木康之

王さんの博士論文は、現代日本語における否定文をテーマとした研究ですが、その内容は、形態論的なレベルにおいても、また構文論的なレベルにおいても、さらにはテキスト論的なレベルにおいても、現代日本語の肯定・否定の表現に関する膨大な用例を緻密に分析検討し、否定表現の特質をめぐりに解析してみせたものとして十分に評価されました。ちなみに、王さんの「否定文の研究」の最大の特徴は、「否定」という事項を単なる付加的な文法現象として扱うのではなく、「肯定」「否定」という文法的なカテゴリー（形態論的なレベルで言えば、いわゆる「みとめ方」のカテゴリー）のなかで分析検討してみせたということです。つまり、肯定との対応関係のなかで、「否定」の特性をうきほりにしてみせたものなのです。

通俗的な言い方で王さんの研究姿勢を説明するとすれば、「くしない」という言い方は、「くする」と「くしない」との対立関係のなかで成立するということになります。けっして、「くする」に否定を付加した言い方ということではありません。かたちのうえで「くする」に「ない」を付加したように見えたとしても、「くしない」の言い方は、「くする」と「くしない」との関係を前提としているのであって、「くする」と「くしない」との対立のなかで「くしない」の意味・用法が存在しているのです。

ついでながら、「くする」の意味・用法も、基本的には「くする」と「くしない」との対立のなかで位置づけられるのですが、しかしながら、「くする」には、「くしない」を前提としない意味・用法も存在していて、このような事実についても、王さんの研究で確認させられるところなのです。

すばらしい現代日本語の研究成果の一つとして、真に評価できる著作であると感ずる次第です。



ISBN 4-931490-54-9・C3081

目次

第一部 序論

第一章 / 否定の概観

第二章 / テキストにおける肯定と否定

第三章 / アスペクト・テンスの基本的な意味

第四章 / 日中語の形態論における否定の相違

第五章 / 使用資料

第二部 本論

第一章 / 会話文における肯定と否定

第二章 / 会話文における個々の否定形の意味

第三章 / 地の文における肯定と否定

第四章 / 地の文における個々の否定形の意味

第五章 / 否定文の特化現象

第三部 結論

注文票

注文FAX 048-432-7335

FAX 電話:	住所:	氏名:
	〒	

A5版上製 288頁

注文数

部

定価: 本体 8000円+税

2003年6月28日発行

日本僑報社の学術書のご案内

- 『中国の人口変動』
- 『中国観光業詳説』
- 『中国のWTO加盟と国際観光業』
- 『日本華僑華人社会の変遷』
- 『華僑社会の変貌とその将来』
- 『中国人の日本語著書総覧』
- 『在日中国人媒体総覧』
- 『中国人の日本奮闘記』
- 『中国人の見た日本』